

(様式3)

事業所名 サンシャインあてらグループホーム

目標達成計画

作成日: 令和 6年 1月 18日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容 目標達成に要する期間	
1	6	○身体拘束をしないケアの実践 身体拘束等廃止委員会(1回/2ヶ月)への過程において職員同士の話し合い、それに伴う記録の整備などの不足。	定期及び必要の都度、話し合いの場を設けるなど体制の整備。研修や会議の記録に関して、文書化して記録に残せるよう記録の重要性に対する意識の向上を図る。(日々、文書化した記録を残せるようにする。)	身体拘束廃止の為の指針を作成し、事業所における身体拘束廃止に関する基本的な考え方や身体拘束に向けた体制などを明記する。勉強会を通じ知識を共有し、必要と認める場合(経験の浅い職員等)は管理者・ユニット主任・看護師が中心となって指導していく。	12ヶ月
2	10	○運営に関する利用者、家族等意見の反映面会等においてコロナ禍前の状況に戻し切れていない。	感染防止対策徹底を継続し、家族が希望する面会時間・面会頻度に対応できるように努める。また、ご家族対応の受診時など少人数であれば外食したり、外泊希望に応じるなどコロナ禍前に少しずつでも戻せる様に努める。ご家族への利用者様の生活状況の報告頻度を増やす。	全体会議・運営推進委員会・広報などを通じ、地域の感染症に関する情報を把握し、全体会議の議題に上げるなどして制限緩和に努める。引き続き職員に対しては感染予防対策の徹底を促し、必要に応じ、ご家族様への協力をお願いしていく。二ヶ月に一度のグループホーム便りをお送りする際に合わせて、写真・担当職員によるコメント・直近の行事予定をお送りし、生活の状況をお知らせしていく。(誕生日月のお便りは継続する為、写真は年間行事の写真と分け、日常生活の様子のお写真をお送りする。)	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成して下さい。